

令和4年度

群馬県公立高等学校

入学者選抜学力検査問題

国語

(後期選抜)

— 注 意 事 項 —

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は、全て、解答用紙に記入すること。
- 3 「やめなさい。」の指示があったら、直ちに筆記用具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は、1ページから10ページまであります。
- 5 解答用紙の、の欄には何も書かないこと。

— 次の文章を読んで、後の(一)～(五)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(田中修『植物のいのち』(こぼろ)。

(一) 文中 I、II に当てはまる語の組み合わせとして、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア I しかし、 II あるいは

イ I たとえば II しかも

ウ I ところが II そのため

エ I なぜなら II したがって

(二) 文中A—「その根拠は、主に、次の三つに整理できます」とありますが、その根拠について説明したものととして、次のア～エから適切なものを全て選びなさい。

ア 根拠の一つ目では、根が水のある方向へ伸びる現象について述べている。

イ 根拠の二つ目では、土と水がないと植物は成長できないことを述べている。

ウ 根拠の三つ目では、根が伸びるには地球の重力が大きく影響することを述べている。

エ 三つに整理された根拠は、根には水を求めて伸びる力があることを示すものとなっている。

(三) 文中B—「ところが、根の成長はさうではありません」とありますが、筆者は、植物の地上部の成長と地下部の根の成長はどのように異なるかと述べていますか。植物の地上部の成長と地下部の根の成長がそれぞれどのようなか、違いが分かるように、書きなさい。

(四) 本文の中で、筆者は、「根性」という言葉の意味と「根の性質」を重ねて捉えています。筆者が「根性」という語に重なると考えているのは「根の性質」のどのような点ですか、重なる点に触れながら書きなさい。

(五) 本文全体の構成や表現についての説明として、次のア～エから適切なものを二つ選びなさい。

ア 根拠を順序立てて説明することで、文章の説得力を高めている。

イ 反対意見に対して一つ一つ反論し、自分の主張を正当化している。

ウ 難解な専門用語を多用することで、格調の高い文章となっている。

エ 複数のデータを詳細に比較した上で、最後に問題提起をしている。

オ 客観的事実や現象だけでなく、筆者の主観的な見方も示されている。

二次の文章を読んで、後の(一)～(五)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(一) 文中A——「鼻を鳴らす」という表現は、「俺」のどのような様子を表していますか、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア 得意に思っている様子。      イ 不満を感じている様子。  
ウ 心が落ち着いている様子。      エ 相手の機嫌をうかがう様子。

(二) 文中B——「ただバトンを撃げばいいだけじゃないんだ」とありますが、「兄」が「俺」に伝えたい内容として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア バトンに込められた思いに気づいてこそ、感動的なリレーになる。  
イ 夢や希望を仲間と共有できるかどうかで、リレーの価値が決まる。  
ウ バトンをスムーズに渡す美しきこそが、本物のリレーの良さである。  
エ 本物のリレーをするには、お互いのことを深く理解する必要がある。

(三) 文中I——「どこまでも本命の前座ってワケだ」と、II——「エースの前座。そんな気持ちで一走を走ってたら、きっと雨夜というロケットは飛ばない」という表現から、「俺」は自分が一走を走ること、どのように受け止めていると考えられますか、まとめて書きなさい。

(四) 文中C——「いいよ別に。本物のリレーなんか……」に込められた「俺」の心情を説明したものと、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア 兄の過去と自分を結び付け、前向きな気持ちを抱いている。  
イ 兄の助言を理解しながらも、素直に認められない部分がある。  
ウ 仲間よりも、自分が速く走ることだけに集中したい思いがある。  
エ 自分の気持ちを分かってもらえず、兄に対して嫌気がさしている。

(天沢夏月『ヨンケイ!!』による。)

(注) 雨夜……エース区間の二走を走るメンバー。      サーフエス……走行面。

サトセン……陸上部の顧問。      酒井……陸上部の部員。

(一) 文中□に当てはまる語句として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア リレーはタイム      イ リレーはパズル  
ウ 一走はブースター      エ 二走はロケット

三 次の文章を読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

『常山紀談』による。

(注) 太田左衛門大夫持資、上杉宣政……いずれも室町時代の人。

長臣……重要な職務にある家臣。

鷹狩……鷹を使って行う狩り。

蓑……わらなどを編んで作った雨具。

(一) 文中——「言はず」を現代仮名遣いで書きなさい。ただし、全て平仮名で書くこと。

(二) 次の会話文は、春輝さんたちが、本文について話し合ったときの会話の一部です。これを読んで、後の①、②の問いに答えなさい。

春輝さん 「持資」が「若き女」に対して怒ったのはどうしてだろう。

夏斗さん それは、「持資」が蓑を借りようとしたのに、「若き女」が何も答えずに I からでしょう。

秋世さん 確かにこの行動は不思議だよ。これってどういうことなのかな。

冬香さん それが「古歌のころ」と関係してくるわけですよ。

夏斗さん 本文の中に出てくる和歌は、昔の人がよんだもので、

多くの花を咲かせるけれど実を付けないという山吹の特徴を踏まえているんだよ。

秋世さん そうか。「みの一つだになき」という言葉があるけれど、

これには、「II」という意味と「蓑が一つもない」という二つの意味が込められているということだね。

冬香さん そういうことになるね。だから「若き女」の行動には意味があつたんだ。

春輝さん 最後の一文に「持資驚きて」とあるから、「持資」はその意味を知って本当に驚いたんだろうね。

冬香さん 調べてみると、古文に出てくる「驚く」は、「はっと気づく」という意味で使われることも多いんだって。

それを考えると、III ということになるよ。

春輝さん なるほど、そうだね。「持資」の気持ち伝わってくる気がするよ。

① 会話文中 I、II に当てはまる内容を、本文から考えて、それぞれ現代語で書きなさい。

② 会話文中 III に当てはまる内容として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 「若き女」がよんだ和歌に感動し、古い歌が持つ趣深さとおもしろさに気づいた

イ 「若き女」とのやり取りを通して、自分の教養のなさを知るとともに和歌の奥深さに気づいた

ウ 「若き女」の優しい気持ちに触れることで、一緒に和歌を作ってみたいという自分の恋心に気づいた

エ 「若き女」の行動が自分の真意を探るためであったと分かり、人を見かけで判断すべきでないと気づいた

四 次の文章は、漢文を書き下し文に書き改めたもので、陳の国を攻め取ろう

と考えた楚の国の莊王が、使者に陳の国の様子を視察させ、その結果を報告させた場面のものであります。これを読んで、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

**著作権の関係により本文は省略します。**

〔説苑〕による。

- (注) 城郭……城壁。 溝壑……城の堀。  
 蓄積……備蓄。 寧し……穏やかである。  
 夫れ……そもそも。 賦斂……租税。  
 上……陳の王のこと。 罷……「疲」に同じ。

(一) 文中——「兵を興して之を伐ち」は、「興 兵 伐 之」を書き下し文に書き改めたものです。「兵を興して之を伐ち」という読み方になるように、「興 兵 伐 之」に返り点を書きなさい。

(二) 文中——「其の城郭は高く、溝壑は深く、蓄積は多く」について、次の表は、使者の報告と、それに対する莊王の考えを整理したものです。①、②に当てはまる内容を、それぞれ現代語で簡潔に書きなさい。

使者の報告		莊王の考え	
結論	「其の城郭は高く、溝壑は深く」	結論	「陳は伐つべきなり」
結論	「蓄積は多く」	結論	「陳は伐つべからざるなり」
(そうであるならば)		(そうであるならば)	
↓		↓	
①		②	
租税が重いはずであり、		租税が重いはずであり、	

(三) 本文で述べられている内容についての説明として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 使者は、平和を維持するために戦いは避けるべきだと莊王を説得した。  
 イ 莊王は、使者の報告にうそが含まれることを鋭く見抜くことができた。  
 ウ 使者は、莊王の判断に納得がいかず、陳への攻撃には参加しなかった。  
 エ 莊王は、陳が小国であることを踏まえ、陳の状況を論理的に推測した。



五 次の(一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) 次の①～④の——の平仮名の部分を漢字で書きなさい。

- ① 釣り糸をた<sup>ら</sup>す。
- ② もうすぐ日<sup>が</sup>く<sup>れ</sup>る。
- ③ し<sup>ぎ</sup>ゆ<sup>う</sup>、連<sup>ろ</sup>してほ<sup>し</sup>い。
- ④ け<sup>ん</sup>ば<sup>い</sup>機<sup>で</sup>き<sup>つ</sup>ぶ<sup>を</sup>購<sup>入</sup>する。

(二) 次の①～④の——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- ① 進<sup>行</sup>が滞<sup>る</sup>。
- ② 目<sup>標</sup>を掲<sup>げ</sup>る。
- ③ 材<sup>料</sup>を吟<sup>味</sup>する。
- ④ 若<sup>干</sup>の余<sup>裕</sup>がある。

(三) 次の漢字の部首名を書きなさい。また、この漢字を楷書で書いた場合の総画数を書きなさい。

權

六 次の会話文は、竹志さんたちが、中学校の図書委員会で、校内の

読書活動の推進について話し合いをしたときの会話の一部です。これを  
読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

竹志さん ここ数年のデータを見てみると、最近、学校の図書館の  
貸し出し冊数が減っているみたいだよ。

小梅さん 「読書離れ」などと言われることもあるし、みんな本を  
読まなくなっているのかもしれないね。

松子さん 確かにそうかもしれないね。でも、図書館では借りずに、  
本を書店やインターネットで買って読んでいる人もいると  
思うな。

小梅さん 実際はそうなのかもしれないね。でも、図書館にも良い本  
がたくさんあるから、みんなに手に取ってほしいな。

松子さん 本を読む人にも読まない人にも、読書をする<sup>I</sup>ことの楽しさ  
や意義を改めて伝えたい気がするね。まずは、全校生徒に  
アンケートをして、みんなの読書の実態を把握する  
というのはどうか。

竹志さん なるほど、いいかもしれないね。あわせて、読書をする  
ことの楽しさや良さについても、みんなに考えてもらいたい  
気がするな。

小梅さん それなら、読書をする<sup>II</sup>ことの良いところを図書委員会で  
考えて、アンケートの中でいくつか示してみるのはどう  
だろう。そのうえで、一人一人に自分の考えに近いものを  
選んでもらえば、読書のきっかけにもなるだろうし、今後の  
図書委員会の活動の参考にもなると思うよ。

(一) 会話文中I—について、松子さんは、読書の実態を把握するため

の質問をいくつか作成しましたが、次の質問①、②については、図書  
委員会での検討を踏まえ、修正することにしました。質問①、②は、  
どのような点を修正したと考えられますか。質問の(修正前)と  
(修正後)を比較し、質問①、②の修正した点について、後のア～オ  
から最も適切なものをそれぞれ選びなさい。

質問①

(修正前) あなたは、最近、何冊本を読みましたか。

(修正後) あなたは、九月の一月間に何冊本を読みましたか。

質問②

(修正前) あなたは、本を読む場合に、学校の図書館で本を借り  
たり書店で本を購入したりしますか。

(修正後) あなたは、本を読む場合に、書店で本を購入しますか。

ア 答えを一方に誘導する可能性があった点。

イ 受け取り方に幅が生まれる語を使っていた点。

ウ 一つの質問の中で二つの事柄を聞いていた点。

エ 質問する事柄が調査の目的と合っていなかった点。

オ 専門的な用語が多くて意味が分かりにくかった点。

(二) 会話文中Ⅱ―について、次のA～Cは、竹志さんたちがアンケートの中で示した、読書をする事の良いところとして考えられる事柄の一部です。A～Cの中から、読書をする事の良いところとして、あなたの考えに最も近いものを一つ選び、あなたがそのように考える理由を、自分の経験を含めて、百四十字以上、百八十字以内で書きなさい。なお、選んだ記号に○を付けること。

- A 豊かな言葉や表現を学べるところ。
- B 想像力や空想力を養えるところ。
- C 内容を把握する力が付くところ。